

# 大原中だより

さいたま市立大原中学校

☎ 048-831-5397

FAX 048-835-1357

第 5 号

はつらつとした学校、地域に輝く学校

平成28年8月29日(月)

メールアドレス:ohara-j@saitama-city.ed.jp ホームページ:http://ohara-j.saitama-city.ed.jp/

暑い夏が終わって—夏休みも感動いっぱい、生徒の活躍を振り返る—

校長 中島 俊尚

夏休みに入る直前の土日からサッカー部の県大会が始まりました。参加48校のうち上位2校が関東大会出場です。大原中サッカー部は1回戦から順調に勝ち上がり、3回戦では県の新人戦優勝チームと対戦し、1-0で勝利、さらに準々決勝でも勝利し、7月25日、いよいよ関東大会出場をかけた準決勝です。相手は同じさいたま市の土合中、大接戦でしたが、試合終了間際に得点を許し、惜しくも0-1で敗れました。市の大会から数えると9試合を戦い抜き、堂々の県3位に輝きました。過去に全国優勝の経験もあるサッカー部、みごとな伝統復活です。

その前日の7月24日、桶川のサンアリーナに行き、女子バスケットボール部の県大会準々決勝を応援してきました。女子バスケットボール部も2回戦、3回戦と順調に勝利し、いよいよ全国優勝を狙う強豪チームとの対戦です。前半は大接戦でしたが、後半は力の差が出てしまいました。大柄の選手ばかりの相手チームに対し、泣きながらドリブルで攻め込む小さなキャプテンの姿が心に残りました。女子バスケットボール部も県大会ベスト8の大活躍でした。

さらに県大会の個人戦ではみごと関東大会・全国大会出場を決めた生徒もいて、本当にうれしい夏になりました。女子柔道部3年生の黒田亜紀さんは県大会で優勝し、さらに関東大会でも準優勝、全国大会に出場しました。1年生の中山歩さんも関東大会まであと一步の第3位と健闘しました。そして体操競技の部では2年生の鶴木康成くんが男子個人総合5位で関東大会に出場しました。さらに陸上部3年生の小林怜司くんは男子四種競技で県3位となりました。

この夏は運動部だけではなく、文化部もすばらしい活躍ぶりでした。7月23日、演劇部はさいたま市宇宙科学館の大ホールで、8月3日、吹奏楽部はさいたま市文化センター大ホールで、それぞれ感動のステージを披露しました。さらに8月18日、同じくさいたま市文化センターで開催されたさいたま市中学校美術部展も見応え十分でした。また7月下旬の3日間、本校のコンピュータ室では技術部の生徒が講師となって上木崎公民館主催のパソコン教室が開かれました。孫のような生徒から指導される地域のみなさんの温かな笑顔が心に残りました。

地域のみなさんと言えば、夏のお祭りも忘れられません。7月24日、合計で60名を超える本校の男子生徒と女子生徒が与野駅東口前広場に集合し、地域のみなさんといっしょにおみこしを担ぎ、大原・上木崎地区を練り歩きました。特に女子生徒の元気なかけ声がうれしかったです。おみこしの休憩場所にはおいしい飲み物やアイスが用意され、夕やみ迫るゴールの足立神社境内では手づくりの温かな料理までふるまわれ、生徒たちには大満足の1日となりました。地域のみなさま、お世話になり、ありがとうございました。

こうしてオリンピックに沸いた今年の夏休みもあっという間に終わりに近づきましたが、生徒の活躍はさらに続きます。8月24日、さいたま市文化センター大ホールで「さいたま市いじめ防止シンポジウム」が開かれました。ここで山下生徒会長をはじめとする生徒会本部役員が、上木崎小、針ヶ谷小の代表児童といっしょに、大原中学校区のいじめ防止の取り組みを堂々と発表しました。市内160校の代表にふさわしいすばらしいプレゼンテーションでした。以上、夏休み中の生徒の活躍を一部ですが、紹介させていただきました。本日の2学期始業式では生徒の活躍をたたえとともに、夏休み中に起こった神奈川県相模原市の「やまゆり園」の事件について、全国手をつなぐ育成会連合会長のメッセージを紹介しました。生徒といっしょに深く考えたいメッセージです。

